

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	5-3-1	事業名	都心まちづくり戦略の策定及び推進
担当	市民まちづくり局都市計画部都心まちづくり推進室都心まちづくり課 太田 211-2692		
全体計画			
事業内容	<p>少子高齢化の進展や、コンパクトシティ推進の重要性の高まりといった社会状況や経済状況の変化、一方で民間都市開発が活発化するなど、都心をとりまく環境は大きく動いている。</p> <p>これら都心を取り巻く様々な要因を的確に踏まえ、将来を見据えた都心のまちづくりを一体的、効率的に進めるために、ここ10年程度を計画期間とする中期的な戦略が必要であることから、「都心まちづくり戦略」を策定し、魅力と活力あふれる都心のまちづくりを推進する。</p> <p>また、この戦略を実行性(実効性)のあるものとするため、産官学による「(仮称)都心まちづくり会議」を立ち上げ、戦略を確実に実施するとともに、都心のまちづくりに関する様々な情報の共有や意思の統一を図るほか、庁内連携体制の確立、都心再生推進のための財源の仕組みについても併せて検討する。</p>		<p style="text-align: center;">&lt;年度別の事業内容&gt;</p> <p>[平成19年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都心まちづくり戦略の策定検討費</li> <li>・(仮称)都心まちづくり会議立上げ・運営費</li> <li>・都心再生推進にかかる財源調整検討費</li> </ul> <p>[平成20～21年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都心まちづくり戦略の策定検討費</li> <li>・(仮称)都心まちづくり会議運営費</li> <li>・都心再生推進にかかる財源調整検討費</li> </ul> <p>[平成22年度]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(仮称)都心まちづくり会議運営費</li> <li>・都心再生推進にかかる財源調整検討費</li> </ul>
	事業内容	<p style="text-align: center;">平成19年度事業内容(決算)</p> <p>都心内の既存の空間と、今後新たに創出される空間の意義、役割を踏まえ、これらを魅力とにぎわい溢れる空間として、いかに一体的にとらえ、かつ効果的に連携・活用していくかを示す「都心空間計画」、及び、都心を取り巻く様々な要因を的確に踏まえ、将来を見据えた都心のまちづくりを一体的、効率的に進めるために、ここ10年間程度の手順をわかりやすく示す「都心まちづくり戦略」の方向性について検討を進めた。</p> <p>また、スピーディーかつ効果的に検討を進めるため、素案を立案する前段階から、学識者等から長期的・広域的な視点の意見をもらい、検討していくことが有効であることから、「都市環境・景観」、「空間プロデュース」、「都市交通」等、都心のまちづくりにおいて重要な視点で、高度かつ専門的な助言・提言を行う「都心まちづくり戦略特別顧問」を設置し、学識者3名を選任し、意見交換を重ねた。</p> <p>量 ・ 場 所</p> <p>都心まちづくり戦略、都心空間計画策定検討 都心まちづくり戦略特別顧問設置</p>	<p style="text-align: center;">平成20年度事業内容(決算)</p> <p>都心まちづくり戦略の策定に向け、「都心まちづくり戦略特別顧問」を中心とした専門家等からなる「都心まちづくり戦略会議」を設置し、都心の目指すべき将来像や、官民連携による一体的なまちづくりの展開、人を中心とした都心空間のあり方、地区特性を生かしたまちづくりの推進など、今後のまちづくりの基本的な方向性の検討を行った。</p> <p>都心まちづくり戦略会議の設置 都心まちづくり戦略の基本的な方向性の取りまとめ</p>
規模等	<p style="text-align: center;">平成21年度事業内容(予算)</p> <p>平成21年度においては、20年度に取りまとめた基本的な方向性に基づき、魅力ある街区の形成、都心内のオープンスペースの位置づけ、創成川以東地区のまちづくりの展開、民間再開発を誘導する都市計画手法などについて、実効性のある施策を詳細かつ具体的に検討し、都心まちづくり戦略として策定する。</p>	<p style="text-align: center;">平成22年度事業内容(予算)</p>	

## 平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	5-3-1			事業名	都心まちづくり戦略の策定及び推進					
<b>達成目標の状況</b>										
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)				
都心まちづくり戦略の策定	検討	検討	基本的方向性取りまとめ	策定		策定 (19年度)				
都心まちづくり会議の設置	検討	検討	戦略会議の設置			設置 (19年度)				
<b>市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)</b>										
<p>市民との連携、市民参加 (該当なし)</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力](該当なし) [情報協力](該当なし) [その他の協力](該当なし) 市民・企業等が参加しやすい環境づくり (該当なし)</p>										
<b>評価(成果)</b>					<b>課題</b>					
<p>庁内での検討のみならず、「都心まちづくり戦略特別顧問」を中心とした「都心まちづくり戦略会議」を設置し、意見交換を行うことで、従来無かったまちづくりの視点、考え方や国内外の先進事例を取り入れ、検討を進め、都心まちづくり戦略の基本的な方向性として取りまとめた。</p>					<p>経済を活性化させ、風格と魅力ある都心を実現するためには、行政単独の施策展開では困難であり、官民が都心の将来像を共有し、効率的に連携して取り組まなければならない。 そのためには、地元事業者や商業者がまちづくりに参画し、民間投資を積極的に行いうる環境と体制づくりを早期に行うことが必要である。また、いかに地元事業者や商業者の意欲を高めていくかが課題である。</p>					
<b>今後の事業の予定・方向</b>										
<p>近年の少子高齢化の急速な進展、市民ニーズの多様化、不安定な経済情勢など、都心を取り巻く状況は大きく変化してきているほか、大規模公共施設整備による開発の誘発や、経年による施設更新など、民間都市開発は展開時期を迎えている。 これらの社会経済動向を踏まえ、札幌市が考えるまちづくりの方向性を「都心まちづくり戦略」として明示し、官民が共通の目標像を共有しながら都心のまちづくりに取り組んでいくことで、将来を見据えた一体的、効率的な都心のまちづくりが推進される。 また、「都心まちづくり戦略」は10年程度の中期計画であり、「都心まちづくり戦略特別顧問」をはじめとした専門家等との継続的な協議や、具体的な検討により、その時々状況に対応しつつ、戦略に示された重点施策の確実な実施を図っていく。</p>										

## 平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		5-3-1			事業名	都心まちづくり戦略の策定及び推進				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	2,000	5,000	1,500	1,500	10,000				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0	0	0				
	市の債	0	0	0	0	0				
	その他の他	0	0	0	0	0				
一般財源	2,000	5,000	1,500	1,500	10,000					
予算	事業費	2,000	5,000	5,000	-	12,000				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0		0				
	市の債	0	0	0		0				
	その他の他	0	0	0		0				
一般財源	2,000	5,000	5,000		12,000					
実績	事業費	13	5,962	-	-	5,975				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0			0				
	市の債	0	0			0				
	その他の他	0	0			0				
一般財源	13	5,962			5,975					
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)					109.8%			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
(全体)										
[19年度] 策定検討及び会議運営に関して、委託を行わなかったため。										
[20年度]										
[21年度]										